



雌阿寒山硫黄開堀起業費調書  
明治廿五年八月







大正十一年四月  
限侯爵邸

北海道釧路國阿寒郡雌阿寒山硫黄産々年輸出  
高純硫黄三万石ニ對スル収支調算(三万石ハ四千五百噸ニ對)

支出

一金八万三千七百五拾圓

内訳

一 壹万圓

採掘及山出費

是ハ生硫黄四万石ニ對スルモノニ

シテ安田硫黄山ノ實例ニ對割五

分ヲ増算セリ百石ニ付貳拾五圓

ノ割

一 六千三百圓

索繩鐵道運賃



是ハ生礦四万石ニ對スルモノ  
ニシテ雌阿寒山ヨリ飽別村マ  
テ七哩間百石ニ付拾五圓七拾  
五錢ノ割

一八十四 精煉費

是ハ生礦四万石ニ對スルモノ  
ニシテ硫化炭素精煉法トス百  
石ニ付貳拾圓ノ割

一七千。貳拾圓 輕便鉄道運賃

是ハ純礦三万石ニ對スルモノ  
ニシテ飽別村ヨリ<sup>コ</sup>ラカブト  
マテ拾三哩間百石ニ付貳拾三

二製

四四拾錢ノ割

一三千七百八拾圓 河舟運賃

是ハ三拾石積拾五艘ニシテ尙  
艘三人乗尙人賃四拾錢ピラカ  
バトヨリ釧路港マテ川筋拾六  
哩間百石ニ付拾貳圓六拾錢ノ  
割

一尙万千貳百五拾圓 汽船運賃

是ハ釧路横濱間百石ニ付船賃  
共三拾七圓五拾錢ノ割ニシテ  
尙噸貳圓五拾錢ニ当ル但シ釧  
路ハ特別港ナリ



一五千四百四

以及繩代

是ハ拾三ノ目入三個ヲ壹石ト  
仮定シタル總數九万個ニ對ス  
ルモノニシテ壹個ニ付繩共平  
均六錢ノ割

一八千四

元資償却高

是ハ八万四、拾々年賦

一八千四

利子

是ハ元資八万四ニ對スルモノ  
ニシテ年率割ニ相當セリ但シ  
年々其額ヲ減スルモノ

一千四

精煉器修繕費

一壹万四

積立金

是ハ索繩及鐵道并河舟其他ノ  
營繕ニ充

一五千四

諸雜費

是ハ掛負ノ給料及旅費ニ充ツ  
合計金八万三千七百五拾四

収入

一拾三万五千四

賣捌高

是ハ横濱渡百石ニ付四百五拾  
四ノ割合ニシテ壹噸三拾四ニ



相当に尚土追々騰貴ノ模様

差引

紙益金五万千貳百五拾四也

備考

一 雌阿寒山ヨリ飽別村マテ七哩間ハ道路峻  
 ニシテ凸凹少ナカラザレハ索繩鉄道ヲ架設  
 スルノ必要アリ其經費是哩ニ付凡貳千五百  
 四ノ見込ニテ都合是万七千五百四ヲ要ス  
 一 飽別村(精煉所ヲ置ク)ヨリコラカゴトマ  
 テ拾三哩間ハ道路概子平坦ニシテ大川廣沃  
 ナク輕便鉄道ヲ布設スル容易ナリトス其經  
 費是哩ニ付凡貳千四(鉄條ハ拾六封度ノ見  
 込)ノ見込ニテ都合是万六千四ヲ要ス又流  
 籠車貳臺重量各八噸ニシテ硫黄五拾噸ヲ引  
 得ルモノトス代價各九千四ヲ要ス又貨車貳



拾壹各三噸積新調費凡三千四ヲ要ス

一 精煉器購入費ハ凡八千四ヲ要ス

一 河舟三拾石積拾五艘新造費凡千四ヲ要ス但

レビラカフ上ヨリ雪里川ヲ利用シテ釧路川

ニ出テ釧路港ニ達スベシ此川緩流ニシテ流

水ノ憂ナク又出水等ノ為メニ河心ヲ変化ス

ルノ恐レナキ自然ノ運河ナリ

一 精煉所事務所倉庫人夫小屋ノ建築費凡貳千

四ヲ要ス

一 以上ノ方法ニ據レハ資本金八万四ヲ以テ充

分起業セラルベキモノトス

一 採礦就業ハ五月中旬ヨリ十月下旬マデ百六

拾五日間ヲ適當トス此ノ日數ニ原礦四万石

(六千噸)ヲ採掘運搬センニハ尙日貳百四拾

貳石ノ割合ニ付之ヲ容量貳百斗ノ運送箱ニ

充ルルハ凡四百箱余ト為ル乃チ尙日ノ就業

時間ヲ十時間トスルルハ索繩拾五間毎ニ尙

箱ヲ附着シ尙時間ニ尙哩ノ速力ヲ以テ運行

セシムルモ尙ホ二三時間ノ餘裕アリトス

一 精煉ハ車中稼業ニ得ルモノナレバ冬期運搬

ノ都合アルヲ以テ四万石ノ原礦ニ対シ貳百

拾日間即チ五月中旬ヨリ十二月中旬マデニ

精煉シ了ルヲ適當トス但尙昼夜百九拾石余

ヲ精煉シテ之ヨリ平均八分ノ純礦ヲ収得ス



ルヲ以テ産日、製出高百五拾貳石余ト爲シ  
 一雌阿寒山硫黄ハ頗ル善良ナル質ニシテ百分  
 中七拾乃至九拾ヲ含ミ平均八拾ノ純礮ヲ得  
 ル容易ナリ現在露出総高六拾万石余ニシテ  
 純礮四拾八万石ヲ有セリ（七万貳千噸ニ当  
 ル）故ニ年々三万石ヲ製出スルトスレハ  
 向フ十六年余ヲ持續スルヲ得ベシ而シテ此ノ  
 外面ニ露ハレタルモノ、シテ以テ現今ノ相  
 場即チ百石ニ付四百五拾田ト仮ニ見積ル片  
 ハ實ニ貳百拾六万田ノ巨額ニ上リ年々ノ純  
 益ヲ平均五万田ト仮定スル片ハ則チ八拾万

田余ノ巨利ヲ占得スルノ割合トス当山ノ実  
 況ハ其ノ載セテ北海道廳藏板ニ係ル北海  
 道鑛床調査報文ニ在リ本書ハ明治廿五年中  
 最新、印刷ナリ



参考

安田硫黄山ヨリ標茶ヲテ布設シタル廿五哩  
間、鉄條ハ廿五封度ニシテ汽罐車重量拾噸  
トス引、所、臺車拾九輛各四噸積ニシテ硫  
黄七拾六噸ヲ運送セリ







北海道 釧路國 此阿寒山硫黃運搬線路見取圖

大正十一年四月  
 郵便局寄贈

